

## 線維筋痛症など 専門医の配置を

患者ら、県に要望書

全身の筋肉が激しく痛む線維筋痛症などの患者らでつくる「今を生きる会」の山中裕介代表らが23日、県庁を訪ね、線維筋痛症などの専門医が県内にいない現状を訴え、速やかに配置す

ることを求める要望書を提出した。要望書を受け取った県健康福祉部の一戸和成部長は「できる限り努力していく」と話した。

自身も線維筋痛症患者である山中代表によると、同症の患者は全国で約200万人いるとされている。しかし、2014年に成立した難病医療法では難病に指定されておらず、行政の支援が受けられない状況だという。

山中代表は今回、弘前市の女性患者から県内に専門医がいない現状などを聞き、来県したという。要望書は専門医の配置のほか、指定難病になっていない難病や疾病の医療現場での周知、患者の就労支援などを求めた。